

## 『梅雨前の安全対策で清掃活動！』

現在、大崎町で実施されている県営農地侵食防止事業（シラス対策事業）崎園地区で、(株)コバルト技建と(株)大重建設が、梅雨前の安全対策のためにと、5月17日・21日両日に分かれ、域内の伐採作業と調整池の清掃活動を行いました。「日頃お世話になっている地域の皆さまへの感謝の意を込めて、少しでも手助けになれば。」との思いから始まったようです。

初夏の陽光の中、参加者は額に汗しながら、「まもなく迎える梅雨時期も、地域住民の方々が安心して暮らしていただけたら幸いです。」と話していました。



## 『日本ハードウェア(株)が寄付』

4月23日(水)、中段集落にある金型工場の日本ハードウェア(株)鹿児島工場が、誘致企業として大崎町に進出してから20周年を迎え、また、第5工場が完成したことを記念して大崎町に寄付をしてくださいました。

鹿児島工場の従業員数は現在60人で、その多くの方が大崎町に在住していることで、若者定住の推進にも寄与されています。

小川益治社長は「大崎町は非常に利便性の良いところ。それに加え、人情に溢れる町で素晴らしい人材に巡り会える。これからも努力を惜しまず、大崎町の発展のために、まい進していきたい。」と話されていました。

## 『アンカツが大崎町にやって来た!』

あなたは“アンカツ”と聞いて何を思いつくだろうか? 「何それ? 食べ物?」「聞いたことない」と言う人が多いだろう。しかし、競馬ファンがこの名を聞くと、全員が同じ答えを返すくらい有名だ。

そう!! “アンカツ”とは、JRA（日本中央競馬会）所属のトップジョッキー安藤勝己騎手（写真中央）のあだ名だ。実は安藤騎手が4月28日から29日にかけて大崎町に来ていたのだ。それは、ニューウェーブ大崎1周年記念イベントでのトークショーと、地方競馬での騎手時代、先輩騎手でお世話になった山下一盛さん（山下牧場）に会うためだった。二人は、地方競馬時代の話に大変盛り上がっている様子で、いち競馬ファンとしては、山下さんがうらやましい限りだった。

